



[2009年11月23日(月・祝)]  
五十嵐喜芳プロデュース

# 藤原歌劇団 創立75周年記念オペラコンサート



林 康子



出口正子



砂川涼子



光岡暁恵



中鉢 聡



村上敏明



堀内康雄



指揮:菊池彦典

## 名作オペラコンサートの次は異色オペラをお楽しみください

藤原歌劇団公演監督 岡山廣幸

秋の気配が色濃くなってきたこのごろですが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。先の藤原歌劇団創立75周年記念公演『愛の妙薬』はマルコ・ガンディーニの新演出で予想通り賛否両論出ましたが、総じて好意的な反応が多く、演出家の一人よがりの読み替えとは違う現代演出が認められたものと考えております。ただ一部の批評家の方が、ベルコーレの衣裳が時代錯誤しているというような内容の発言をしていますが、会場での解説でも申し上げた通り、あの衣裳は現にイタリアの士官学校で使っているものと全く同じものです。休日にサーベルを腰に佩刀してウィンドウ・ショッピングしている姿を見たことがあります。

さて、今後の藤原歌劇団公演予定ですが、11月23日には創立75周年記念オペラコンサートが開催されます。ヴェテランから新鋭まで実力者揃いの豪華なキャストで、イタリア・オペラからアリア、重唱をお楽しみできる藤原歌劇団らしいコンサートになることと思います。年が明けて来年の2月には、プーランクの名作『カルメル会修道女の対話』を新制作でお届けいたします。物語は、フランス革命の混乱のさ中、1794年にパリの広場で16人のカルメル会修道女が処刑された史実に基づいています。史実ではこの処刑の実質的指導者であった口ベスピエール自身が10日後、修道女たちが処刑された同じ場所で断頭刑に処せられています。オペラでの主役はドラマ上創作された役ブランシュ・ド・ラ・フォルスですが、修道女長マリーの人間としての苦悩

が見所でもあり、この物語の核であると思います。プーランクの音楽は、音楽の従来のある方が多様化し旋律が崩壊した後の時代と比較され「メロディーを持つ20世紀最後の作曲家」と呼ばれることもあります。そんな軽やかさや柔さだけではなく、新古典主義の動きと並んで、バロックや古典派音楽の魅力である重厚な和音の動きによる表現も見られ、それはカトリック教徒としての彼の一面が顔を覗かせているとも考えられますが、旋律同士や和音同士をその手法によって重ねるなど、軽快で旋律に富む一面と重厚な和音による表現という一見正反対とも思える彼を「ガキ大将と聖職者が同居している」と評す者もいました。フランス人指揮者アラン・ギンガルを迎え、藤原歌劇団が満を持して取り組む20世紀フランス・オペラの最高峰——この機会をどうぞお見逃しなく、皆様のご来場をお待ちしております。

そして、さらにその先の公演について一言。2003年から藤原歌劇団が続けているロッシーニ・シリーズは『イタリアのトルコ人』『アルジェのイタリア女』『ラ・チェネレントラ』『ランスへの旅』『どろぼうかささぎ』といずれも高い評価をいただいておりますが、そのシリーズの次回作品は、ロッシーニの最初のオペラ・セリアで彼の最初の大成功作品『タンクレーディ』です。今最高のタンクレーディ歌手として近年大活躍のマリアンナ・ピッツォラートと、指揮にロッシーニの権威アルベルト・ゼッダを迎え、来年6月に上演いたします。こちらにもどうぞご期待ください。

藤原歌劇団公演 [2010年2月]

## プーランク 「カルメル会修道女の対話」



折江忠道



出口正子



中鉢 聡



森山京子



佐藤ひさら



鳥木弥生



佐藤美枝子



三浦克次



佐藤亜希子



小山陽二郎



郡 愛子



本宮寛子



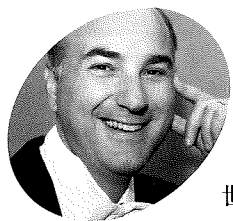
牧野真由美



大貫裕子

五十嵐喜芳プロデュース

# 藤原歌劇団創立75周年記念オペラコンサート



速報

ミケーレ・ペルトゥージ  
急遽追加出演予定!

世界的に華々しく活躍する名バス歌手!!

指揮：菊池彦典

ソプラノ 林 康子 / 出口正子 / 砂川涼子 / 光岡暁恵

テノール 中鉢 聡 / 村上敏明

バリトン 堀内康雄

特別出演 ミケーレ・ペルトゥージ

合唱：藤原歌劇団合唱部 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

2009年 **11/23** (月・祝) 14:00

東京文化会館 (JR上野駅公園口直前)

特別席 ¥10,000 A ¥7,500 B ¥5,500 C ¥3,500

主催：財団法人日本オペラ振興会

助成：野村国際文化財団

後援：財団法人日伊協会

【演奏予定プログラム】

ヴェルディ「ラ・トラヴィアータ(椿姫)」より

乾杯の歌

出口正子、中鉢 聡、藤原歌劇団合唱部

ああ、そは彼の人か〜花から花へ

出口正子

プロヴァンスの海と陸

堀内康雄

ドニゼッティ「ルチア」より 狂乱の場

光岡暁恵

プッチーニ「ラ・ボエーム」より

冷たい手を

村上敏明

私の名はミミ

砂川涼子

二重唱 麗しき乙女よ

砂川涼子、村上敏明

ベッリーニ「ノルマ」より ころんなさいノルマ

林 康子、出口正子

ロッシーニ「セビリアの理髪師」より

陰口はそ風のように

ミケーレ・ペルトゥージ

二重唱 それじゃ私ね

光岡暁恵、堀内康雄

プッチーニ「蝶々夫人」より

二重唱 可愛がってくださいね

林 康子、村上敏明

ある晴れた日に

林 康子

ヴェルディ「ナブッコ」より

行け、我が思いよ金色の翼に乗って

藤原歌劇団合唱部

未来の暗がりの中に私は見る

ミケーレ・ペルトゥージ

## 日本オペラ振興会フレッシュコンサート2009 ~オペラ・アリア、アンサンブルによる~

ソプラノ 小田切一恵 / 比嘉千子 / 姫野成美 / 伊倉睦実  
伊藤真矢子 / 岡島優美子 / 門田和香 / 久米本真央  
神野仁美 / 出口明子 / 中村 彩 / 中村寛子

メゾ・ソプラノ 飯森加奈 / 南裕嘉

テノール 上本訓久 / 大間知寛 / ロベルト・ディ・カンディド / 飯島竜也

バリトン / バス 江原 実 / 大石洋史 / ジュリアン・ロー / 月野進

デニス・ビシュニャ / 田中大揮

ピアノ：村上尊志・河原忠之・大野美智子

指導：大賀寛・岡山廣幸

2009年 **11/29** (日) 14:00 津田ホール (JR千駄ヶ谷駅前)

全自由席 ¥3,000

主催：財団法人日本オペラ振興会

藤原歌劇団公演

平成21年度文化芸術振興費補助金 (芸術創造活動特別推進事業)

2010都民芸術フェスティバル参加公演



プーランク作曲

## カルメル会修道女の対話

オペラ3幕(字幕付き原語上演)

公演監督：岡山廣幸

指揮：アラン・ギンガル 演出：松本重孝

キャスト

	2/6	2/7		
ド・ラ・フォルス侯爵	折江忠道	三浦克次	ジャヴリノ(医師)	柿沼伸美
ブランシュ・ド・ラ・フォルス	出口正子	佐藤亜希子	役人	羽瀨浩樹
騎士フォルス	中鉢 聡	小山陽二郎	ティエリー / 看守	坂本伸司
クロワシー修道院長	森山京子	郡 愛子	マザー・ジェラルド	家田紀子
リドワヌ修道院長	佐藤ひさら	本宮寛子	クレール修道女	吉村 恵
マザー・マリー	鳥木弥生	牧野真由美	アントワヌ修道女	立川かずさ
コンスタンス修道女	佐藤美枝子	大貫裕子	カトリーヌ修道女	清水理恵
マザー・ジャンヌ	河野めぐみ	二渡加津子	フェリシティ修道女	村瀬美和
マティルド修道女	向野由美子	松浦 麗	ジェルトリユード修道女	安達さおり
司祭	小宮一浩	所谷直生	アリス修道女	宮本彩音
第1の人民委員	松浦 健	川久保博史	ヴァランティーヌ修道女	渡辺ローザ
第2の人民委員	豊島雄一	清水良一	アン修道女	吉田郁恵
			マルタ修道女	山崎知子
			シャルレ修道女	但馬由香

合唱：藤原歌劇団合唱部 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

2010年 **2/6** (土)・**7** (日) 15:00

東京文化会館 (JR上野駅公園口直前)

\*開演の45分前から会場にて作品解説をいたします。

\*開場は開演の1時間前です。

特別席 ¥18,000 A ¥14,000 B ¥10,000  
C ¥7,000 D ¥5,000 E ¥3,500 F ¥2,000

\*特別席~C席は各席2000円の学生割引があります。学生割引は日本オペラ振興会チケットセンターでのみお取り扱いし、同センターではE券、F券のお取り扱いはありません。

\*ご購入に際しては以下のことを予めご了承くださいませ。出演者は変更することがあります。お買い求めいただいた入場券の払い戻し、変更は出来ません。

主催：財団法人日本オペラ振興会  
社団法人日本演奏連盟

●折江忠道 バリトン (6日/フォルス侯爵)

東京芸術大学卒業、同大学院修了後渡伊。81年から96年までイタリアを中心にヨーロッパで活動の傍ら、88年に藤原歌劇団での「ラ・トラヴィアータ」で日本デビューして大成功を収める。その後も一時帰国して「マクベス」「清教徒」「ドン・カルロ」「トスカ」「ルチア」「愛の妙薬」など藤原歌劇団のプリモ・バリトンとして活躍。近年も「ランスへの旅」「ラ・ボエム」などで好評を博しているベテラン。

●三浦克次 バス・バリトン(7日/フォルス侯爵)

明治大学法学部卒業後、東京声専音楽学校、日本オペラ振興会オペラ歌手育成部で声楽を修める。育成部在籍中、「仮面舞踏会」のシルヴァーノでオペラデビュー。その後、二度のイタリアに留学を挟み、藤原歌劇団を中心に「ラ・トラヴィアータ」「トスカ」「マクベス」「カルメン」「ルチア」「セビリアの理髪師」をはじめ数多くの公演のバスの諸役に活躍。昨年は「ラ・トラヴィアータ」にジェルモンで出演。

●出口正子 ソプラノ(6日/ブランシュ)

国立音楽大学卒業、東京芸術大学大学院修了。ミラノのスカラ座研究所で研鑽を積む。81年ミラノのテアトロ・ナツィオナーレでの「ルチア」で絶賛を博し、その後「ラ・トラヴィアータ」「清教徒」「夢遊病の女」「愛の妙薬」などベルカント・オペラでイタリアやフランス各地で活躍。一方、日本では87年藤原歌劇団の「ルチア」で衝撃的デビュー以来、当団の数多くの主役で名声を確立し、新国立劇場などでも活躍。

●佐藤亜希子 ソプラノ(7日/ブランシュ)

洗足学園音楽大学卒業、同大学専攻科修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。04年藤原歌劇団に「イル・カンピエッロ」のルシエータでデビュー。「ラ・トラヴィアータ」のフローラ、「アドリアーナ・ルクヴール」のジュヴナ、「ランスへの旅」のデアア等に出演後、ミラノに1年間留学。各種コンサートや演奏会形式オペラなどで活躍し、当団公演では主役のカヴァーでも研鑽を積み、今後が期待される若手。

●中鉢 聡 テノール(6日/騎士フォルス)

東京芸術大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了後、藤原歌劇団を中心に多数のオペラに出演。03年に藤原歌劇団「ロメオとジュリエット」でロメオに抜擢されて大成功を収め、続いて「ラ・トラヴィアータ」「アドリアーナ・ルクヴール」「トスカ」の主役で活躍。09年は「愛の妙薬」に出演。全国各地

でのリサイタルから各種コンサート、TV出演まで多彩な活動を展開し、09年6月には初CDをリリース。

●小山陽二郎 テノール(7日/騎士フォルス)

愛知県立芸術大学卒業、同大学院修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了後、ミラノに留学。イタリア各地でオペラ出演のほか、97年から2年間ハンガリー国立歌劇場メンバーとして活躍。藤原歌劇団には03年「ロメオとジュリエット」のティバルトでデビュー後、「イル・カンピエッロ」「カルメン」「ランスへの旅」「どろぼうかささぎ」ほかに出演、08年は「ラ・トラヴィアータ」のアルフレードで好評を博した。

●森山京子 メゾ・ソプラノ(6日/クロワシー修道院長)

国立音楽大学卒業。93年より1年間ミラノに留学。藤原歌劇団には88年「ラ・トラヴィアータ」のフローラでデビュー以来、先の「ラ・ジョングダ」のラウラまでメゾの幅広い役で活躍を続け、「アルジェのイタリア女」「ラ・チェネレントラ」「ランスへの旅」「どろぼうかささぎ」などロッシェニ作品でも定評がある。新国立劇場にも多数出演し、最近では「軍人たち」「ムツェンスク郡のマクベス夫人」で好評を博している。

●郡 愛子 メゾ・ソプラノ(7日/クロワシー修道院長)

奥深い芳醇な声に恵まれ、オペラ、オーケストラの定期演奏会、各種コンサート、リサイタル、テレビ出演、録音など幅広い分野で独創的な活動を展開し、05年には「デビュー30周年記念リサイタル」で大成功を収めた。藤原歌劇団に78年「愛の妙薬」のジャンネッタでデビュー以来数々の公演で活躍し、久々の登場となるベテラン。日本オペラ協会でも多くの主役を演じ、近年では「葵上」で好評を博している。

●佐藤ひさら ソプラノ(6日/リドワーヌ修道院長)

国立音楽大学卒業、同大学院修了。90年より1年間イタリアに留学。「フィガロの結婚」の伯爵夫人でオペラデビュー。藤原歌劇団に94年「蝶々夫人」のタイトルロールでデビューして絶賛を博し、以後、蝶々夫人役の第一人者として国内各地のほか、パーム・ビーチ、マカオ、上海など海外でも活躍し大成功を収めている。また「夕鶴」をはじめ日本オペラでも定評があり、日本オペラ協会や新国立劇場でも活躍。

●本宮寛子 ソプラノ(7日/リドワーヌ修道院長)

国立音楽大学卒業。ミラノ、パリに留学。藤原歌劇団に76年「後宮からの逃走」のコンスタンツェでデビューして注目を浴び、以後、当団のプリマドンナとして「ラ・トラヴィアータ」「ルチア」「夢遊病の女」は

じめ数多くの公演で活躍。また意欲的なプログラムによるリサイタルを継続して開催し、欧米各地など海外でもコンサート活動を展開し、CDも数多くリリースしている。当団に久しぶりの登場となるベテラン。

●鳥木弥生 メゾ・ソプラノ(6日/マザー・マリー)

武蔵野音楽大学卒業。2000年渡伊、01年フイレンツェ歌劇場公演「ジャンニ・スキッキ」のツイータでオペラデビュー。藤原歌劇団に04年「カルメン」のメルセデスでデビューし、「ラ・トラヴィアータ」「ランスへの旅」等に出演。07年「リゴレット」のマッダレーナに出演後パリに留学。在仏中、08年秋スペインのサパデルで「蝶々夫人」のスズキに出演。09年は「ラ・ジョングダ」のチェーカで好評を博した。

●牧野真由美 メゾ・ソプラノ(7日/マザー・マリー)

東京芸術大学卒業、同大学院修了。スイス、ニューヨーク、パルマにて研鑽を積む。藤原歌劇団では08年4月帝国ホテル主催のジ・インベリアル・オペラ「セビリアの理髪師」のバルタに出演し、今回が本公演デビュー。これまでオペラでは東京オペラの森「オテッロ」、東京芸術劇場シアター・オペラ「カヴァレリア・アルスティカーナ」、サントリーホール・オペラ「フィガロの結婚」などに出演。

●佐藤美枝子 ソプラノ(6日/コンスタンス修道女)

武蔵野音楽大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了後、イタリアに留学。ローマのマンツォーニ劇場「リゴレット」のジルダに出演。2000年、藤原歌劇団に最も得意とする「ルチア」でデビューして絶賛を博し、その後も「カブレーティ家とモンテッキ家」「イタリアのトルコ人」「ランスへの旅」をはじめとする当団の公演はもとより、各地でのオペラ公演や各種コンサート、CD録音など幅広く活躍中。

●大貫裕子 ソプラノ(7日/コンスタンス修道女)

東京芸術大学卒業。ウィーン市立音楽院に留学。アントワープ歌劇場にてオペラデビュー後、ルーマニアのヤシ国立劇場で「リゴレット」「仮面舞踏会」「愛の妙薬」に出演。日本オペラ協会に01年「キジムナー時を翔ける」でデビュー以来、「夕鶴」「美女と野獣」「みづち」「葵上」「三人の女達の物語」などの主役で好評を博し、「第九」や宗教曲などコンサートのソリストでも活躍している。藤原歌劇団には今回が初登場となる。

今後の日本オペラ振興会公演予定 (2010年3月～6月)

オペラ歌手育成部新人育成オペラアンサンブル公演

2010年3月13日(土)・14日(日) 昭和音楽大学北校舎第1スタジオ  
[13日]ヴォルフ=フェッラーリ「イル・カンピエッロ」(14時/18時半)  
[14日]チマローザ「秘密の結婚」(13時/17時半)

日本オペラ協会公演

池辺晋一郎作曲「死神」

2010年4月24日(土)・25日(日) テアトロ ジーリオ ショウワ

藤原歌劇団公演

ロッシェニ作曲「タンクレーディ」

2010年6月11日(金)・13日(日) 東京文化会館  
指揮:アルベルト・ゼッダ 演出:松本重孝  
出演:マリアンナ・ピッツォラート ほか

日本オペラ振興会「第29回新人演奏会」

2010年6月26日(土) 津田ホール

プーランク「カルメル会修道女の対話」は、フランス近代オペラの最高傑作といわれる作品です。実話に基づくこのオペラでは、色彩豊かな管弦楽の中、まさに「修道女たちの対話」が軸になって悲劇を形づくっていきます。指揮を執るのはアラン・ギンガル。フランス・オペラで特に評価の高い彼に、作品についてメッセージを寄せていただきました。

message

指揮者  
アラン・ギンガル

## フランス革命の激動の中、日常を取り巻いていた死への恐怖が見事に描かれています



「カルメル会修道女の対話」は、プーランクがリコルディ社からの委嘱を受けて作曲された作品です。実は、同社からの最初の依頼はバレエ曲を書くことだったのですが、プーランクはこれを拒んだのです。しかし同時に、台本を提供してくれれば、オペラなら喜んで書くことと付け加えました。そこで、リコルディ社が、フランス革命の際にパリ近郊の小さな町コンピエーニュの修道女たちの身に起こった実話に基づくベルナノスの台本によるオペラを書くことを提案したところ、プーランクは大喜びでこの申し出を受けたのでした。史実に基づくこのオペラを書くにあたって、プーランクは友人たちと幾度も手紙のやり取りを交わし、自らの迷い、希望、悩みを彼らと分かち合いながら作曲を進めました。

この作品では、朗唱法(デクラメーション)の音楽的な用法によってテキストの価値が十分に高められていて、ベルナノスの台本はこのオペラの中できわめて重要な位置を占めています。管弦楽法は色彩感にあふれ、登場人物の個性のさまざまなニュアンスを完璧に描き出しています。歌い手にも、個々の登場人物の人間性の微妙なニュアンスをもれなく聴衆へ伝える能力が要求されています。脇役たちも重要な位置を占めているので、歌手たちは全員が強烈な個性を有していなければなりません。

フランスでも、聴衆の多くは、ヴェルディ、プッチーニなどのもっと伝統的なオペラに魅力を感じています。しかし逆にプー

ランクの歌曲や室内楽曲が大変好きなのも事実です。

この「カルメル会修道女の対話」の中ではフランス革命が極めて見事に描かれています。そこでは“恐怖政治”を生んだ革命期の激動、行き過ぎや狂気が取り上げられ、とりわけ日常を取り巻いていた死への恐怖が描かれたオペラだと言えます。その最も顕著な例は、第1幕の修道院長の死の場面に現れています。上級の地位にある修道女が自らの信仰心に疑問を抱くという、しかもそれが最も若いカルメル会修道女たちの目前で起こるという極めて悲劇的な瞬間となっています。

私がまだ若い頃、私の住む町、アヴィニョンのコンサート協会の会長から、彼女と深い交流があったというプーランクについて話を聞いたことがあります。プーランクは最後のシーン(ギロチン刑による修道女たちの死の場面)を、この彼女の家で書きあげたというのです。そこは、私の家から50mほどのところですよ。

私がこのオペラを初めて指揮したのは、この作品の初演の地でもあるイタリアで、1997年トリエステでのことでした。ぜひ日本でもこの作品に臨みたいと願っていました。2000年に藤原歌劇団を指揮して以来、日本の団体から何度も招いていただけるようになり、日本では、上質の音楽をしっかりと受け止めてくださる極めて知識豊かな聴衆の皆さんにお会いできることがよくわかっているのですから。今回、その機会と喜びを与えてくださった日本オペラ振興会に、心からの感謝をいたします。



●アラン・ギンガル (指揮)

フランス出身。1975年～81年アヴィニョン・オペラ総監督、84年～86年ナント歌劇場音楽監督を務め、パリ・オペラ座、オランジュ音楽祭などフランスはもとより、ウィーン、ナポリ、ローマ、ベルリン、マドリードをはじめヨーロッパ各地で活躍し、豊富なオペラ経験を持つベテラン指揮者。レパートリーは幅広く、フランス・オペラでも定評がある。2000年藤原歌劇団「ラ・トラヴィアータ」で初来日、当団には今回が4度目の登場。その他、新国立劇場「マノン」「ヴェルテル」、ラヴォーチェ「ドン・キホット」で来日している。



●松本重孝 (演出)

東京都出身。東京室内歌劇場第1回公演に参加。1984/85年渡伊、ローマを中心に研鑽を積む。藤原歌劇団では外来演出家や故栗國安彦らの演出助手を経て、92年「ラ・トラヴィアータ」でデビュー後、「カルメン」「ラ・ボエーム」を新演出のほか、「アイダ」「蝶々夫人」などの再演出も手がけている。モーツァルトからヴェルディ、プッチーニ、日本オペラの新作まで数多くの作品の演出で全国各地で活躍し、「カルメル会修道女の対話」は2001年に札幌で演出している。02年にはイタリアのミラノのストレーラ劇場で「蝶々夫人」を演出。

●「カルメル派修道女の会話」作品メモ

●フランシス・プーランク (1899～1963)

19世紀末のパリで裕福な家庭に生まれたプーランクの作品には、「ベル・エポック」と呼ばれたこの時期のパリの空気が溢れている。初期の快楽的で洒落た作品から晩年の敬虔な宗教曲まで、基本的には調性を保った保守的な作風ながら、その響きは常に新鮮、自由な息吹を感じさせる。多数の歌曲・合唱曲やピアノ曲をはじめ、あらゆるジャンルに作品を残しているが、オペラは本作にプッファ「ティレジアスの乳房」、モノオペラ「声」を加えた3作のみ。オネゲル、ミヨーらとともに「フランス6人組」のひとり。

●原作・台本

もとはジョルジュ・ベルナノス(1888～1948)による映画用の台本。さらにこの台本自体も、ドイツの女流作家ゲルトルト・フォン・フォールの小説『死刑台への最後の女』(1931)を脚色したもので、1794年7月に16人のカルメル会修道女たちが処刑された史実に基づいている。

●主な登場人物

- ド・ラ・フォルス侯爵(バリトン)……………ブランシュの父。
- ブランシュ・ド・ラ・フォルス(ソプラノ)……侯爵の娘。精神的に不安定な少女。
- 騎士フォルス(テノール)……………ブランシュの兄。
- クロワシー修道院長(メゾ・ソプラノ)……病に冒された老齢の修道院長。
- リドワーヌ修道院長(ソプラノ)……………クロワシーの死により任命された新修道院長。
- マザー・マリー(メゾ・ソプラノ)……………修道女長。唯一死刑を免れ、生き残る。
- コンスタンス修道女(ソプラノ)……………ブランシュとは対照的に明るい性格の若い修道女。

あらすじ

フランス革命のさなか、1789年4月のパリ。感受性が強く病的な性格のブランシュは、革命の不安な世情を恐れ、それから逃れるために、郊外のコンピエーニュにあるカルメル会修道院への入会を決心する。老齢の修道院長クロワシーは、修道院は逃避の場所ではないとブランシュの入会の動機を戒めるが、決意は固く入会が認められた。

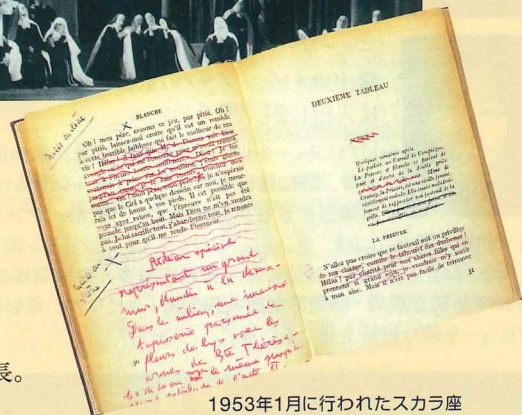
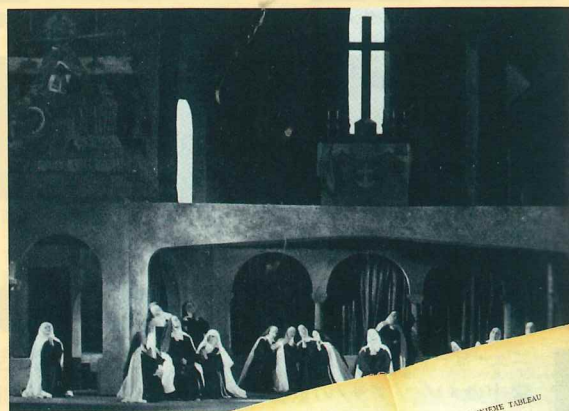
修道女となったブランシュは、彼女とは正反対の朗らかで明るい性格の若い修道女コンスタンスと知り合う。おしゃべりのなか、コンスタンスは「私たちは同じ日に死ぬような気がするわ」と予言めいたことを言うが、二人ともまだ自らの運命を知るよしもない。ブランシュは取り合わない。

病床のクロワシー修道院長の容態が悪化。彼女は病に臥せながらも歳若いブランシュのことを案じ、行く末を上級修道女のマリーに託す。いよいよ臨終が迫ると、クロワシーは病の苦しみと死への恐怖から、神への不信を口にして息を引き取る。臨終に立ち会ったブランシュは衝撃を受ける。

革命が激化。貴族たちは国外逃亡を始め、騎士フォルスも妹ブランシュを迎えにくるが、彼女は応じない。すべての宗教活動が禁じられるなか、修道院では最後のミサが執り行われる。やがて押し寄せる群

●初演

1957年1月26日 ミラノ・スカラ座(イタリア語上演)  
(フランス語初演 1957年6月21日 パリ・オペラ座)



1953年1月に行われたスカラ座での初演の舞台(上)と、プーランク自身の書き込みのあるシナリオ

集とともに人民委員がやってきて、修道女たちに立ち退きを布告する。

マリーの提案で、革命軍に抵抗して殉教するかどうかの投票が行われた。「総意」が条件だったが、ただひとりコンスタンスだけが反対票を投じる。しかし彼女もまた、皆の意見に従うことを申し出、殉教が決まる。全員が順に司祭に誓いを立てるなか、恐怖にかられたブランシュは修道院から逃げ出してしまう。

革命軍に占拠され荒廃した実家の侯爵邸に身分を偽り身を隠していたブランシュのもとへ、マリーが訪れ、戻るように説得するがブランシュは聞こうとしない。この頃、修道院では修道女たちが捕らえられ、死刑が宣告されていた。それを知ったマリーは皆と運命を共にするため戻ろうとするが、司祭はそれを思い留まらせる。

処刑の日。革命広場に群集が集まっている。修道女たちは祈りを捧げながら一人ずつ断頭台へ上っていく。処刑が進み、残るはコンスタンス一人となったとき、群集のなかからブランシュが現れた。コンスタンスはそれを認め、微笑みながら断頭台へ進む。ブランシュもまた自ら粛々と断頭台に向かうのだった。一瞬。ギロチンの音が重く響き、ブランシュの歌う祈りの声が途切れる…。

## 2009年度 新入団・会員

藤原歌劇団  
準団員  
(育成部より)



相島見咲 S



池邊見子 S



井上智咲子 S



岩崎華代 S



金山美奈子 S



金 永実 S



坂本麻友美 S



福岡理美 S



福壽真弓 S



松本清香 S



水田友絵 S



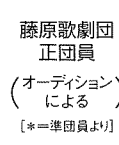
山口和江 S



吉田早苗 S



黒田正雄 B



藤原歌劇団  
正団員  
(オーディション  
による)  
[\*=準団員より]



小田切一恵 S



姫野成美 S



上本訓久\*T



ロベルト・ディ・  
カンデイト\*T



江原 実\*B



大石洋史\*B



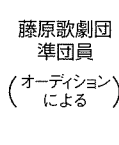
月野 進\*B



ジュリアンロー B



デニス・ビシュニャ B



藤原歌劇団  
準団員  
(オーディション  
による)



伊倉睦実 S



伊藤真矢子 S



岡島優美子 S



門田和香 S



久米本真央 S



神野仁美 S



出口明子 S



中村 彩 S



中村寛子 S



渡辺聖子 S



南 裕嘉 MS



飯森加奈 MS



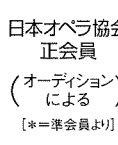
飯島竜也 T



前田進一郎 T



田中大揮 B



日本オペラ協会  
正会員  
(オーディション  
による)  
[\*=準会員より]



比嘉千子\*S



大間知 覚T

### 重松みか 入団のお知らせ



ニューヨークに在住し、オペラやコンサートで国際的に活躍中のメゾ・ソプラノの重松みかがこのたび藤原歌劇団に入団しました。

[プロフィール] 大阪音楽大学卒業。第24回日伊音楽コンクール、第60回日本音楽コンクールにともに第一位。文化庁派遣芸術家在外研修員として渡米。サンフランシスコ歌劇場で研鑽を積み、以後、ボストン・リリックオペラ、リヨン国立歌劇場、ニューヨーク・シティオペラをはじめ欧米各地の数多くの歌劇場に出演。日本では1998年新国立劇場・藤原歌劇団共催公演「セビリアの理髪師」のロジーナでデビューを飾り好評を博している。

### 受賞

- 清水理恵(ソプラノ) 藤原歌劇団団員  
第7回東京音楽コンクール声楽部門第1位
- 別府真也(バリトン) 藤原歌劇団準団員  
第3回横浜国際音楽コンクール声楽部門・一般の部第1位

### 平成22年度 オペラ歌手育成部 [研究生] 募集

本格的なオペラ歌手を育成します。  
オペラ専門コースⅠ/オペラ専門コースⅡ/オペラマスターコース

- 願書受付期間  
[第一次募集] 平成21年12月1日(火)～平成22年1月26日(火)  
[第二次募集] 平成22年 2月8日(月)～平成22年3月16日(火)
  - 選抜試験日  
[第一次募集] 平成22年1月30日(土) [第二次募集] 平成22年3月20日(土)  
※両日とも、午前10時～:歌唱試験/午後:面接試験
  - 入所検定料 38,000円(併願料5,000円)
- 受験資格・試験科目等詳細は下記へお問い合わせください。募集要項および志願書は、電話またはファックスにてご請求いただければ郵送します。

#### 【お問い合わせ】

財団法人日本オペラ振興会 オペラ歌手育成部  
〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-6 昭和音楽大学北校舎内  
☎044-969-7197 ㊚044-953-8693 (10:00～18:00)

### 制作受託オペラ

文化庁本物の舞台芸術体験事業  
藤原歌劇団公演「カルメン」ハイライト

指揮:須藤桂司 演出:今井伸昭  
出演:森山京子/河野めぐみ(カルメン)、永澤三郎/角田和弘(ドン・ホセ)  
家田紀子/竹村佳子(ミカエラ)、三浦克次/柿沼伸美(エスカミーリョ)  
藤原歌劇団合唱部

[2009年10月16日] 多良木町立多良木中学校(熊本県) [19日] 天草市立本町中学校 [21日] 長崎市立江平中学校 [22日] 長崎市立緑が丘中学校 [23日] 諫早市立諫早中学校 [26日] 福岡市立原北中学校 [27日] 大野城市立大野中学校 [28日] 宮若市立宮田光陵中学校 [29日] 北九州市立篠崎中学校

横須賀市中学校芸術鑑賞会  
日本オペラ協会公演「夕鶴」 [主催:横須賀市教育委員会]

2009年12月16日(水)、17日(木)、18日(金)  
よこすか芸術劇場 大ホール

総監督:大賀 寛 指揮:江上孝則 演出:今井伸昭  
出演:長島由佳(つう)、持木 弘(与ひょう)、清水良一(運ず)、安東玄人(惣ど)  
日本オペラ協会合唱団、東京フェスティバルオーケストラ

ジ・インペリアル オペラ  
藤原歌劇団公演「蝶々夫人」 [主催:帝国ホテル]  
2010年4月29日(木・祝) 帝国ホテル・富士の間

### 制作受託コンサート

目黒区民まつり  
2009年10月17日(土) めぐるパーシモンホール  
出演:五十嵐喜芳、五十嵐麻利江、砂川涼子、久保田真澄

二人でコンサートVI  
2009年11月29日(日) 第一生命ホール  
出演:野田ヒロ子、森山京子、中鉢 聡、三浦克次

五十嵐喜芳・麻利江コンサート  
2010年2月19日(金) 岡山県 川崎医科大学講堂

市民文化ホール・プレゼンツ 藤原歌劇団ガラコンサート(仮称)  
2010年3月5日(金) 宮崎市民文化ホール  
出演:川越塔子、中鉢 聡、藤原歌劇団合唱部 ほか

[2009年]

■ 9月6日(日)  
東京室内歌劇場「妻を帽子と間違えた男」  
出演●若林 勉  
会場●第一生命ホール  
■ 9月11日(金)  
中鉢 聡テノールリサイタル  
出演●中鉢 聡  
会場●沼津市民文化センター  
■ 9月16日(水)、17日(木)  
七ヶ浜アウトリーチ事業  
出演●大森智子  
会場●宮城県 七ヶ浜町  
■ 9月16日(水)  
輝く高音、テノール・コンサート  
出演●村上敬明  
会場●宝くじドリーム館  
■ 9月17日(木)  
横浜フンナイトクルーズ  
出演●中鉢 聡  
会場●にっぽん丸  
■ 9月18日(金)  
中鉢 聡テノールリサイタル  
出演●中鉢 聡  
会場●堺市民会館  
■ 9月20日(日)~10月6日(火) [全6回]  
新国立劇場「オテロ」  
出演●妻屋秀和、森山京子、久保田真澄  
会場●新国立劇場オペラパレス  
■ 9月23日(水)  
まちに息づくクラシックVI  
出演●大森智子  
会場●七ヶ浜・国際村ホール  
■ 9月23日(水)  
トヨタコミュニティコンサート「ラ・ボエーム」  
出演●野田ヒロ子、安達さおり  
会場●前橋市民文化会館  
■ 9月27日(日)、30日(水)  
IFACオペラ  
「ゼウスの化身 怪人ドン・ジョヴァンニ」  
出演●大貫裕子、彭 康亮  
会場●新宿文化センター  
■ 9月28日(月)、30日(水)  
サロン・コンサート  
出演●大森智子、河野めぐみ、中鉢 聡、東原貞彦  
会場●魚沼市穴沢ふれあい館(28日)  
小千谷穴沢真人住居センター(30日)  
■ 9月29日(火)、10月1日(木)  
学校訪問コンサート  
出演●大森智子、河野めぐみ、中鉢 聡、東原貞彦  
会場●魚沼市(29日)、小千谷市(1日)  
■ 10月1日(木)  
大新宿まつり「オーケストラ名曲コンサート」  
出演●郡 愛子  
会場●新宿文化センター  
■ 10月3日(土)  
多摩市「イタリア民謡特別演奏会」  
出演●中鉢 聡  
会場●バルテノン多摩  
■ 10月5日(月)  
九州交響楽団「天神でクラシック」  
メンデルスゾーン: 交響曲第2番「讃歌」  
出演●野田ヒロ子  
会場●アクロス福岡シンフォニーホール  
■ 10月8日(木)~12日(月) [全8回公演]  
ミラマレオペラ「奥様女中」[ジャンニスキッキ]  
出演●折河宏治、江口浩平、別府真也、山内政幸  
横堀裕美、高村清子、谷 友博、山口佳子  
村上敬明、Denys Vyschnia  
会場●六行会ホール  
■ 10月14日(木)  
板橋区第九ブレコンサート  
出演●村上敬明  
会場●板橋区役所ロビー  
■ 10月15日(木)、16日(金)  
新国立劇場関西鑑賞公演「蝶々夫人」  
出演●小濱妙美、松浦 健、折江忠道  
会場●尼崎アルカイックホール  
■ 10月15日(木)、16日(金)  
吉見町アウトリーチ事業  
出演●大森智子

会場●埼玉県吉見町  
■ 10月18日(日)  
大森智子ソプラノリサイタル  
出演●大森智子  
会場●フレサよしみ  
■ 10月18日(日)  
東京フィル「午後のコンサート」  
出演●村上敬明  
会場●東京オペラシティ  
■ 10月23日(金)、24日(土)  
長崎市アウトリーチ事業  
出演●村上敬明  
会場●長崎市  
■ 10月23日(金)、24日(土)  
仙台フィル定期 ヴェルディ「レクイエム」  
出演●中鉢 聡  
会場●仙台市青年文化センター  
■ 10月25日(日)  
第24回国民文化祭「蝶々夫人」  
出演●牧野正人  
会場●アクトシティ浜松  
■ 10月29日(木)  
北区キャンペーンコンサート  
出演●村上敬明  
会場●北とびあ  
■ 10月29日(木)、30日(金)  
大阪フィル定期「カルミナ・プラナー」  
出演●五郎部俊朗  
会場●ザ・シンフォニーホール  
■ 10月31日(土)、11月1日(日)  
横浜シティオペラ「愛の妙薬」  
出演●高橋薫子、藤原海考、松山いくお  
会場●神奈川県民ホール  
■ 11月3日(火)  
親子で楽しむファミリーコンサート  
出演●大森智子  
会場●宮城県名取市  
■ 11月5日(木)、6日(金)  
名取市アウトリーチ事業  
出演●大森智子  
会場●宮城県名取市  
■ 11月7日(土)、8日(日)  
日生オペラ「ヘンゼルとグレーテル」  
出演●菅家奈津子、藤澤眞理  
会場●日生劇場  
■ 11月11日(水)、14日(土)  
魅惑のオペラ・ガラ  
出演●村上敬明、森口賢二、藤原歌劇団合唱部  
会場●いずみホール(大阪)(11日)  
紀尾井ホール(14日)  
■ 11月13日(金)、15日(日)  
北とびあ国際音楽祭2009「思いがけないめぐり会い、またはメッカの巡礼」  
出演●柴山晴美  
会場●北とびあ さくらホール  
■ 11月18日(水)  
東海主婦のコーラス連盟40周年記念演奏会  
出演●佐藤美枝子  
会場●愛知県芸術劇場  
■ 11月18日(水)、19日(木)  
和歌山市アウトリーチ事業  
出演●中鉢 聡  
会場●和歌山市  
■ 11月18日(水)~26日(木) [全4回]  
新国立劇場「ヴォツェック」  
出演●妻屋秀和、松浦 健  
会場●新国立劇場オペラパレス  
■ 11月21日(土)  
中鉢 聡テノールコンサート  
出演●中鉢 聡  
会場●和歌山市市民会館  
■ 11月22日(日)  
仙台フィル演奏会  
出演●佐藤ひさら  
会場●南三陸町ベイサイドアリーナ  
■ 11月26日(木)、27日(金)  
宗像市アウトリーチ事業  
出演●大森智子  
会場●宗像市  
■ 11月29日(日)  
大森智子ソプラノコンサート  
出演●大森智子  
会場●宗像ユリックス

■ 12月2日(水)~13日(日) [全5回]  
新国立劇場「トスカ」  
出演●彭 康亮、松浦 健  
会場●新国立劇場オペラパレス  
■ 12月3日(木)  
杉並公会堂「ミュージック・ランチ」  
出演●村上敬明、藤原藍子  
会場●杉並公会堂(小)  
■ 12月5日(土)  
クラシカ葉山スパークリングオペラ  
「カヴァレリア・ルスティカーナ」  
出演●須藤慎吾、牧野真由美、藤原歌劇団合唱部  
会場●クラシカ葉山  
■ 12月6日(日)  
第27回板橋第九演奏会  
出演●村上敬明  
会場●板橋区立文化会館  
■ 12月6日(日)  
第25回記念 第九演奏会  
出演●中鉢 聡  
会場●茅ヶ崎市民文化会館  
■ 12月10日(木)  
セントラル愛知交響楽団「第九」  
出演●小山陽二郎  
会場●愛知県芸術劇場コンサートホール  
■ 12月11日(金)、13日(日)  
グランシップ会館10周年記念事業「椿姫」  
出演●堀内康雄、向野由美子、東原貞彦  
会場●三浦克次、家田紀子、藤原歌劇団合唱部  
会場●静岡・グランシップ  
■ 12月12日(土)  
中鉢 聡テノールリサイタル  
会場●アムールホール  
■ 12月12日(土)  
宇都宮第九合唱団 演奏会第29回演奏会  
出演●大貫裕子、川久保博史  
会場●宇都宮市文化会館  
■ 12月13日(日)  
北区第九演奏会  
出演●村上敬明、羽瀧浩樹  
会場●北とびあ  
■ 12月20日(日)  
日野市「第九コンサート'09」  
出演●佐藤美枝子、森山京子、村上敬明  
会場●日野市民会館  
■ 12月21日(日)~27日(日) [全6回]  
読売日本交響楽団「第九」  
出演●中鉢 聡  
会場●東京芸術劇場、サントリーホール  
横浜みなとみらいホールほか  
■ 12月25日(金)  
帝国ホテルクリスマスロビーコンサート  
出演●砂川涼子、村上敬明  
会場●帝国ホテルロビー

[2010年]  
■ 1月3日(日)  
NHKニューイヤー・オペラコンサート  
出演●堀内康雄、藤原歌劇団合唱部ほか  
会場●NHKホール  
■ 1月10日(日)  
日立ニューイヤーコンサート  
出演●谷 友博  
会場●日立シビックセンター  
■ 1月23日(土)、24日(日)  
オペラ彩「仮面舞踏会」  
出演●下原千恵子、谷 友博、党 主祝  
東原貞彦、須藤慎吾  
会場●和光市民文化センター大ホール  
■ 1月30日(土)、31日(日)  
立川市民オペラ「アイダ」  
出演●榎木和敬、牧野正人、若林 勉  
矢田部一弘  
会場●立川市民会館  
■ 2月6日(土)  
ASAGOクラシックパーク/ガラコンサート  
出演●大森智子  
会場●朝来市生野メインホール  
■ 2月11日(木)~23日(火) [全5回]  
新国立劇場「ジークフリート」  
出演●妻屋秀和  
会場●新国立劇場オペラパレス

■ 2月18日(木)  
砂川涼子・村上敬明デュオコンサート  
出演●砂川涼子、村上敬明  
会場●大阪フェニックスホール  
■ 2月19日(金)、20日(土)、21日(日)  
三枝茂彰 オペラ「忠臣蔵」  
出演●松浦 健  
会場●オーチャードホール  
■ 2月24日(水)、25日(木)  
笛吹市アウトリーチ事業  
出演●大森智子  
会場●山梨県笛吹市  
■ 2月27日(土)  
大森智子ソプラノリサイタル  
出演●大森智子  
会場●笛吹市スコラーセンター  
■ 3月6日(日)  
ガラコンサート  
出演●大森智子、村上敬明  
会場●長崎ブリックホール  
■ 3月7日(日)、11日(木)  
東京フィル定期 ロッシーニ「ウィリアム・テル」ハイライト、「スタバト・マーテル」  
出演●松浦 麗、牧野正人  
会場●東京オペラシティ  
■ 3月7日(日)  
開館15周年記念事業「カルメン」  
出演●大貫裕子  
会場●那須野が原ハーモニーホール  
■ 3月10日(水)、11日(木)、14日(日)  
池田晋一郎 オペラ「耳なし芳一」  
出演●中鉢 聡、久保田真澄  
会場●金沢県立音楽堂(10日)  
富山県射水市(11日)  
横浜みなとみらいホール(14日)  
■ 3月13日(土)、14日(日)、27日(土)、28日(日)  
オペラ「ラ・ボエーム」  
出演●堀内康雄  
会場●びわ湖ホール(13,14日)  
神奈川県民ホール(27,28日)  
■ 3月28日(日)  
愛知県文化振興事業団プロデュース  
オペラコンサート「ナブッコ」  
出演●村上敬明、若林 勉  
会場●愛知県芸術劇場コンサートホール  
■ 4月17日(土)  
いずみホール・オペラ「ランスへの旅」  
出演●折江忠道、牧野正人、久保田真澄  
会場●いずみホール(大阪)  
■ 4月29日(木・祝)  
クラシックの日コンサート  
出演●高橋薫子、中鉢 聡  
会場●東京文化会館大ホール  
■ 5月1日(土)~5日(水)  
新国立劇場パレ工公演「カルミナ・プラナー」  
出演●五郎部俊朗、牧野正人  
会場●新国立劇場オペラパレス  
■ 5月30日(日)  
佐藤美枝子・中鉢 聡デュオコンサート  
出演●佐藤美枝子、中鉢 聡  
会場●松本市市民芸術館  
■ 6月10日(木)~20日(日) [全5回]  
新国立劇場「カルメン」  
出演●谷 友博  
会場●新国立劇場オペラパレス  
■ 7月11日(日)  
合唱組曲「私の青い鳥」  
出演●大森智子  
会場●北九州芸術劇場  
■ 7月12日(月)~17日(土)  
新国立劇場オペラ鑑賞教室「カルメン」  
出演●森山京子、谷 友博  
会場●新国立劇場オペラパレス

**リサイタル・マネージメント**

■ バリトン豊島雄一デビュー10周年  
「飛躍の時」(共演: 河野めぐみ)  
2009年7月10日(金) 津田ホール

■ きのしたひろこリサイタル  
2009年10月25日(日) 津田ホール

藤原歌劇団創立75周年記念公演

**ポンキエッリ「ラ・ジョコンダ」** ニュープロダクション

記念公演にふさわしい壮麗な舞台と充実した演奏で  
イタリア・グランドオペラの真髓を發揮

2009年1月31日・2月1日・2日 東京文化会館

指揮：菊池彦典 演出：岩田達宗

ジョコンダ：エリザベート・マトス／下原千恵子

エンツォ：チョン・イグン／笛田博昭

バルナバ：堀内康雄／牧野正人 ほか

藤原歌劇団合唱部 東京フィルハーモニー交響楽団



日本オペラ協会創立50周年記念公演

**水野修孝「天守物語」**

深みを増した栗山演出による完成度の高い舞台と  
ベテランから中堅・新進の熟演により鏡花の幻想性を見事に表出

2009年2月20日・21日 Bunkamura オーチャードホール

指揮：星出 豊 演出：栗山昌良

富姫：腰越満美／川越塔子

図書之助：柴山昌宣／森口賢二

亀姫：斉田正子／佐藤恵利 ほか

日本オペラ協会合唱団 フィルハーモニア東京



藤原歌劇団創立75周年記念公演

**ドニゼッティ「愛の妙薬」** ニュープロダクション

舞台を現代のショッピングモールに設定した  
大胆な新演出が話題を呼んだ

2009年6月12日・13日・14日 東京文化会館

指揮：園田隆一郎 演出：マルコ・ガンディーニ

アディーナ：高橋薫子／川越塔子

ネモリーノ：エマヌエーレ・ダグアンノ／中鉢 聡

ベルコーレ：須藤慎吾／森口賢二 ほか

藤原歌劇団合唱部 東京フィルハーモニー交響楽団



日本オペラ協会 川崎・しんゆり芸術祭「アルテリッカしんゆり」参加公演

**團 伊玖磨「夕鶴」**

新百合ヶ丘で初めて開催された芸術祭に  
日本オペラ協会が不朽の名作を華々しく上演

2009年4月25日・26日 テアトロ ジーリオ ショウワ

指揮：松下京介 演出：鈴木敬介

つう：佐藤ひさら／長島由佳

与ひょう：松浦 健／村上敏明

運づ：牧野正人／清水良一 惣ど：峰 茂樹／中村 靖

東京フィルハーモニー交響楽団



財団法人日本オペラ振興会 鑑賞会員 募集中! JOFアミーチ・デル・テアトロ・リリコ

日本オペラ振興会が主催するすべてのオペラ公演とコンサートが鑑賞でき、しかもさまざまな特典もある大変お得な日本オペラ振興会の年間鑑賞会員(JOFアミーチ会員)を募集しています。入会は随時可能で、会員資格の有効期間は1年間です。

年会費：特別会員 1口=10万円 A会員 1口=7万円

【特別会員】日本オペラ振興会が主催する藤原歌劇団および日本オペラ協会のオペラ公演、コンサートにご招待。(1口につき特別席2枚)

【A会員】日本オペラ振興会が主催する藤原歌劇団および日本オペラ協会のオペラ公演、コンサートにご招待。(1口につきA席2枚)

●会員の特典等、詳細のお問い合わせ・資料のご請求は日本オペラ振興会チケットセンターへ●

その他お問い合わせ  
予約・資料のご請求

日本オペラ振興会チケットセンター ☎03-6407-4333 オンライン予約 <http://www.jof.or.jp>